

平成 28 年度全国学力・学習状況調査(中学校)

国語 A

主として「知識」に関する問題

平均正答率

市	76.6%
国	[75.6%]
県	(76.6%)

区分別定着状況

【話すこと・聞くこと】	80.9%	[78.9%]	(80.1%)
【書くこと】	78.8%	[73.7%]	(76.2%)
【読むこと】	78.0%	[78.6%]	(78.9%)
【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】	74.0%	[73.9%]	(74.6%)

※ [] 内は全国平均を, () 内は県平均を表します。

正答率の高い設問(上位3問)

- 適切な語句を選択する(厳しい挑戦だということは、もちろん分かっています)
(問9三イ) 97.9% [97.9%] (98.1%)
- 漢字を読む(封筒を開ける)
(問9二1) 97.9% [97.6%] (97.8%)
- 漢字を読む(長年の努力が報われた)
(問9二2) 95.9% [94.8%] (95.2%)

正答率の低い設問(下位3問)

- 漢字を書く(今までにないドクソウ的な考えだ)
(問9一2) 34.5% [26.1%] (28.7%)
- 題名の下書きをどのように書き直したかを説明したのとして適切なものを選択する
(問9六) 37.9% [36.4%] (38.8%)
- 漢和辞典の「意味」の中から、「優美」の「美」の意味として適切なものを選択する
(問9四イ) 51.0% [62.8%] (61.3%)

国語 B

主として「活用」に関する問題

平均正答率

市	67.1%
国	[66.5%]
県	(67.9%)

区分別定着状況

【話すこと・聞くこと】	設問なし
【書くこと】	64.4% [58.3%] (61.0%)
【読むこと】	67.1% [66.5%] (67.9%)
【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】	設問なし

※ [] 内は全国平均を, () 内は県平均を表します。

正答率の高い設問(上位3問)

- 関連イベントの「～職人の技を見てみよう～」に参加することが出来る日付として適切なものを選択する
(問1二) 83.4% [83.3%] (83.9%)
- ちらしの表と裏の表現の工夫とその効果を書く
(問1三) 75.9% [68.0%] (72.1%)
- ちらしの表と裏から分かる「暮らしの中の伝統文化展」が開かれるねらいとして適切なものを選択する
(問1一) 73.8% [76.2%] (77.0%)

正答率の低い設問(下位3問)

- 宇宙エレベーターについて疑問に思ったことと、それを調べるために必要な本の探し方を書く
(問2三) 49.7% [49.2%] (48.6%)
- 物語に書かれている事柄について図鑑の説明から分かることとして適切なものを選択する
(問3二) 57.2% [64.7%] (65.4%)
- 情報カードにまとめる内容として適切なものを選択する
(問2二) 61.4% [64.0%] (64.9%)

結果からいえること

○考察

国語 A は全国平均と同じ通過率であり、国語 B は全国平均を下回っていることから、知識・技能等の学習内容はおおむね定着しているが、それを実生活に活用する力にやや課題があると考えられます。

○今後の指導について

今後、国語 A に関しては、語句の学習の際には辞書を用いて意味を確認させるだけでなく、文脈における意味についても捉えさせたり、書写の学習において、書いたものについて生徒が互いに評価し合う場面を設けるなど、毛筆の指導を工夫したりする必要があります。

また、国語 B に関しては、他教科と関連させて資料を読み、収集した情報を整理して内容のまとまりをとらえさせるとともに、中心的な部分と付加的な部分とを読み分けたり、互いの感想を交流して疑問点を出し合い、新たな課題を設定させたりする指導を充実させる必要があります。